



青葉の笛だより

第34号

令和2年10月号

発行所：大本山 須磨寺

〒654-0071

神戸市須磨区須磨寺町4-6-8

TEL 078-731-0416(代)

<http://www.sumadera.or.jp/>

まさか秋の便りまでコロナのことを心配しているなど、あまり考えておりませんでした。そして何かしら訳もわからず、コロナへの対処を考えながら、炎暑の中をあっちに行ったりこっちに行ったりしているうちにお彼岸も過ぎ、いつの間にか秋になってしまったように思う今日この頃であります。皆様方はどうでしょうか。

さて、鏡はいい顔もへんな顔も、感情そのままの怒り顔や悲しい涙顔も、自分自身そのままを映し出します。仏様の持たれている五つの智慧の中に、大円鏡智という清浄な心で公平に物事を見ることの出来る智慧があります。この智慧の鏡は物事の本質をありのままに映し出す、微塵の曇りもない大きな丸い鏡なのです。

人間の一番美しい姿は、胸の前で手を合わせている姿だと言われています。それは亡くなった人の成仏を願い、苦しみ悩んでいる人の安穏な生活の到来を祈っているからです。

この祈りが、金儲けや要らぬ名譽のための願望成就を願う時などには、胸の前で合わされた手が段々と上へ上がり、顔を通り越して頭上で合わすようになってしまいます。

美しい心が美しい姿を生みます。私たちの先祖様たちは、自然とその自然の営みに神様の存在を感じ、畏れ敬い手を合わせてきました。そして、その神様と仏の教えが融合された一体の存在として、何の違和感も覚えることもなく、素直な気持ちで神様仏様に手を合わせ、風雨順時・万民豊樂を祈ってきました。

祈りある所には、謙虚な心と感謝の言葉が出てきますが、祈り無き所には、傲慢な心と不満の言葉しか出てきません。手を合わせ、美しい心と美しい姿を作って参りましょう。そうした毎日を過ごし、いつも晴れ晴れとしていると心も充実し、顔色も良くなって鏡を見るのが楽しくなるでしょう。

この対コロナの生活がいつまで続くかわかりませんが、祈りと感謝の思いを重ね、心の鏡を曇らすことなく過ごしてまいりましょう。

大本山須磨寺 貫主

合掌

小池 弘三

蓮生院十月から十二月までの行事予定

写経・瞑想体験会

お寺で写経と瞑想の体験会を致します。気軽にできる写経・瞑想体験ですので、写経・瞑想をしたことがない人でもご参加いただけます。疲れた心を癒しにお越しください。(写経のみ、瞑想のみの参加も可能です。足を組みやすい服装でお越しください)

日時：十月二十五日(日)

十一月十四日(土)・二十九日(日)

十二月十二日(土)・二十七日(日)

*二十七日のみ時間が変わります。

写経会十四時～十五時半

瞑想会十六時～十七時半(受付は三十分前から)

*十二月二十七日のみ写経会十六時～十七時半

瞑想会十八時～十九時半

蓮生院本堂で口ウソクのみかきの中での瞑想体験です。

場所：蓮生院本堂

参加費：写経五百円・瞑想会千円

事前申し込み制です。

数日前から発熱、咳、下痢、頭痛、息苦しさなどありましたら、参加はご遠慮下さい。

マスク着用をお願いします。

当日お昼までに蓮生院の寺務所にお申込みいただくかお電話でお申し込みください。

蓮生院電話番号 ○七八―七三一―二三一一

昭和寺のご案内

須磨寺参道の萬神殿の向かいにある小さなお寺です。長田から今の地にお寺を移し、ご本尊に金剛界大日如来、脇侍に二願大師(弘法大師)と出世厄除不動尊をお祀りし、ステンドグラスの燈籠を配して光の浄土を体感しながらお参りして頂きます。

当寺は周活の寺として「現世安穩」と「後生得樂」を祈念することを大切に行っています。多くのお参りの方が「後々への不安を無くし安住の地を見つけ」、「今現在を平穩で倅せに暮らせる」ようになることが当寺の悲願です。

須磨寺をお参りして諸佛諸菩薩の教えに触れ、ご加護と心の安心を頂いて、心を軽くして日々の生活や将来への不安事やいわゆる終活に関する相談に各方面の専門家と協働しておひとりおひとりの課題を一つ一つ解決して安心して過ごしていけるお手伝いとお参りの方それぞれへの想いに添った「周活(終活)のカタチ」「供養のカタチ」を創造して参りたいと思っています。

当寺は、少人数のご家族等でのご葬儀にご利用頂きます。ご葬儀やご供養のご相談等もお気軽に相談下さい。須磨寺にお参りの際は、当寺へもお参り下さい。お待ちしております。



須磨の火祭り



来る十一月二十三日(祝・月曜日)午前十一時より、須磨寺秋季大祭「須磨の火祭り」(柴燈大護摩供、火生三昧火渡り修行)を厳修致します。柴燈護摩とは、屋外で焚く大護摩のことです。もともとは山伏が山の中で行っていた修験道の修行であり、不動明王の智慧の火によって皆様の諸願成就を祈ります。護摩壇が点火されると、境内は煙で包み込まれます。この煙にあたれば、無病息災のご利益を得られると伝えられています。法要の最後には、火渡り修行が行われます。火渡りは火の上を歩く荒行です。浄火によって煩惱を焼き尽くし、古い身体と別れ新たに生まれ変わるといふ意味があります。この一年を無事に終えた事を仏様に感謝し、火渡りによって身を清め新しい年をお迎え下さい。

※マスク着用にて、ご参拝ください。

記

- 一、日時 十一月二十三日(月曜日・祝日) 午前十一時開白
- 一、会場 須磨寺境内 ※荒天時は、護摩堂にて
- 一、ご祈禱 特別祈禱札 一万円・三万円・五万円
添護摩木 千円
- 一、火渡り 厄年特別火渡り 五千円
一般火渡り 二千円(先着百五十名)

※火渡り申込の方には当日お札、行者手ぬぐいをお渡します。
※火渡り修行は荒行です。多少のやけどもあり得ますので、申込書の注意をよくお読みのうえお申し込みください。

一、お申し込み 須磨寺派各寺院にお申し込みください。

特に来年厄年を迎える方は、厄難消除のために、火渡りをされることをおすすめします。

令和三年 厄年表

平成 十五年生(女性)	厄年	平成 九年生(男性)	厄年
平成 二 年生(女性)	前厄	昭和五十六年生(男性)	前厄
平成 元 年生(女性)	本厄	昭和五十五年生(男性)	本厄
昭和六十三年生(女性)	後厄	昭和五十四年生(男性)	後厄
昭和 六十年生(女性)	厄年	昭和三十六年生(男性)	厄年
昭和三十六年生(女性)	厄年		

祈りの写経プロジェクト

～写経で被災地に笑顔を～

豪雨災害：人々の祈りの心を被災地へ届けるプロジェクト

お寺ができる息の長い被災地支援とは何か？新型コロナウイルスの影響もあり、被災地に行って直接の支援が思うようにできない中で、お寺でできる被災地支援とは何か？

写経勧進による、特別ご朱印の授与。写経奉納料を被災地に支援金として送ります。

写経の功德により、心の安寧を得る。奉納されたお寺で復興への祈りを重ねる。奉納料は支援金として被災地の支援に繋がる。このような、施しの循環をお寺から作り上げていきたいと思います。



●プロジェクトの流れ

- 1 皆様に、被災地復興の祈りを込めて写経をしていただき、お寺に奉納（郵送）していただきます。
- 2 写経奉納に際して、奉納料1,000円以上を納めてください。
- 3 写経を奉納されたお寺は、特別の御朱印一枚と「笑顔プロジェクト絵はがき」一枚を、奉納して下さった方へ返送する。高額の奉納を頂いた方へは、別途記念品をお送りする。
※複数名での奉納で、人数分のご朱印をご希望の場合は、お名前或いは人数（枚数）の併記をお願いします。
- 4 御朱印の郵送料等必要経費を差し引いた浄財を、「日本笑顔プロジェクト」へ送金します。
- 5 お寺では、朝勤行にて、皆様から頂いた写経をご本尊様のご宝前にお供えし、読経によって祈りを重ねていきます。

●須磨寺への写経奉納の方法

奉納料は現金書留にてご郵送下さい。
写経は普通郵便か、現金書留封筒に同封してご郵送下さい。

宛先

〒654-0071 兵庫県神戸市須磨区須磨寺町 4-6-8
大本山須磨寺内

「日本笑顔プロジェクト写経奉納係」宛

※日本笑顔プロジェクトへ直接支援金を届けたい方は、「日本笑顔プロジェクト」ホームページ内 支援金募集の頁をご確認下さい。

参加寺院

- ◆須磨寺
兵庫県神戸市須磨区須磨寺町 4-6-8 TEL.078-731-0416
- ◆西室院
兵庫県神戸市兵庫区中道通 5-1-3 TEL.078-575-5160
- ◆聖徳院
兵庫県神戸市中央区宮本通 6-7-15 TEL.078-221-5244
- ◆西代寺
兵庫県神戸市長田区神楽町 6-7-18 TEL.078-621-2845

支援先 「日本笑顔プロジェクト」とは？ <https://egaonowa.net/>

真言宗豊山派 浄光寺 副住職 林映寿師が、「一人ひとりが笑顔を持って、家族、友達、職場、地域に笑顔をつなげたい。そして、まずはいま自分が『笑顔』になって、更にその『笑顔』の輪を日本全国にそして世界に広げていきたい」そんな思いから、東日本大震災があった2011年に「日本笑顔プロジェクト」を立ち上げました。現在は主に、自然災害の被災地支援のプロジェクトを継続させています。

熊本豪雨災害の復旧支援として、2020年7月5日に日本笑顔プロジェクト熊本支部を熊本県球磨郡あさぎり町に立ち上げました。

また、林副住職の地元小布施においても、昨年の台風に続き、千曲川の氾濫により、農地などが壊滅的被害に遭っています。度重なる災害に対して、林副住職は「日本笑顔プロジェクト」として、地域や企業、また全国のお寺のネットワークを構築し、災害に強い地域づくりに奔走しています。

◆熊本豪雨発災後の活動内容

- 7月5日 日本笑顔プロジェクト熊本支部を球磨郡あさぎり町へ作る。（現地のスラックライン関係の知人を通して）
- 7月6日 災害協定先の株式会社石井食品佐賀工場より支援物資を人吉市の避難所に届ける。
- 7月7日～8日 長野県長野市の寺院裏山にて土砂崩落の復旧活動（重機隊出動）
- 7月14日より 岐阜県下呂市の孤立集落へ支援物資提供と炊き出しと現地調査に入る。
コーディネート案件内閣府防災担当からトレーラーハウス型仮設住宅の設置要請を受ける一般社団法人日本RV・トレーラーハウス協会の要請で現地の行政・災害対策本部との接触案件。

被災地の行政庁舎はほぼ機能が停止。球磨村においては運動公園内にテントを立てそこを対策本部に。ネットやライフラインが不通で、オンラインミーティング等を試みるが不可。現在、現地への直接訪問について、松本＝九州内空港ヘリコプター機チャーター、九州内空港から被災地現場までヘリチャーターの手配を進めている。
今後の天候等により、スケジュールは変動する事が予測されるが、現地支部からは、コロナの影響もあり物資よりも生活空間の向上を最優先して欲しいとの要望あり。